

貯法：室温保存
有効期間：3年

口腔粘膜・根管消毒剤

日本薬局方

歯科用ヨード・グリセリン (ヨーグリ)

承認番号	16100AMZ00402000
販売開始	1994年3月

劇薬

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者
- 水銀剤を投与中の患者 [10.1 参照]

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	100mL 中	ヨウ素	10g
		ヨウ化カリウム	8g
		硫酸亜鉛水和物	1g
添加剤	グリセリン		

3.2 製剤の性状

性状・剤形	暗赤褐色の液
味・におい	ヨウ素のにおいがある。

4. 効能・効果

口腔粘膜（歯肉）及び根管の消毒¹⁾

6. 用法・用量

適量を綿球又は綿繊維につけ、局所に貼付する。¹⁾

10. 相互作用

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
水銀剤 [2.2 参照]	ヨウ化水銀が発生し、誤飲した場合には吐き気、嘔吐をもよおす可能性がある。	水銀剤との併用により毒性の強いヨウ化水銀が発生するおそれがある。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹、口腔粘膜びらん等

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

ヨウ素は、アミノ酸、ヌクレオチドに対する酸化作用などでグラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、ウイルス、かび類に有効な殺菌力を持つ。ヨウ化カリウムは、ヨウ素の可溶化剤で配合。硫酸亜鉛水和物は、収斂作用で配合。グリセリンは、ヨウ素の局所刺激作用の緩和で配合。²⁾

18.2 抗菌スペクトラム

黄色ブドウ球菌（*S. aureus*）、むし歯菌（*S. mutans*）、大腸菌（*E. coli*）、糸状菌（*C. albicans*）に対して菌発育阻止作用を示した。³⁾

19. 有効成分に関する理化学的知見

19.1 ヨウ素

一般的名称：ヨウ素（Iodine）

化学名：Iodine

分子式： I_2

分子量：253.80

性状：本品は灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なにおいがある。

本品はジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール（95）にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

本品はヨウ化カリウム試液に溶ける。

本品は常温で揮散する。

19.2 ヨウ化カリウム

一般的名称：ヨウ化カリウム（Potassium Iodide）

化学名：Potassium Iodide

分子式：KI

分子量：166.00

性状：本品は無色若しくは白色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール（95）にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は湿った空气中で僅かに潮解する。

19.3 硫酸亜鉛水和物

一般的名称：硫酸亜鉛水和物（Zinc Sulfate Hydrate）

化学名：Zinc sulfate heptahydrate

分子式： $ZnSO_4 \cdot 7H_2O$

分子量：287.55

性状：本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール（99.5）に極めて溶けにくい。

本品は乾燥空气中で風解する。

20. 取扱い上の注意

20.1 本剤により、手指または白衣が汚染された場合はハイポアルコール等で脱色し、充分水洗いすること。

20.2 使用後は密栓し、直射日光を避けて保管すること。

22. 包装

25mL [褐色ガラス瓶]

23. 主要文献

1) 第20次医療用医薬品再評価結果（昭和57年8月10日薬発第707号厚生省薬務局通知）

2) 第18改正日本薬局方解説書，廣川書店，2021：C-5927-5930，5935-5938

3) 村上雄次：歯科用消毒剤の微生物発育阻止作用に関する比較研究，日本歯科保存学雑誌，1983；26（1）：284-314

24. 文献請求先及び問い合わせ先

アグサジャパン株式会社

〒540-0004

大阪市中央区玉造1丁目2-34

06-6768-6344 (代)

26. 製造販売業者等

26.1 製造売元

アグサジャパン株式会社

〒540-0004

大阪市中央区玉造1丁目2-34